

「少子化対策の EBPM」
(2020 年度春季大会における内閣府企画セッション)

2020 年 2 月 6 日現在

1. テーマ

「少子化対策の EBPM」

2. 発表者

発表① 「少子化対策の EBPM に向けて」

発表者 内閣府子ども・子育て本部参事官（子ども・子育て支援担当）付
参事官補佐 飯島亜希

(内容紹介) 1990 年の「1.57 ショック」を契機に政府は少子化対策に取り組んできたが、直近の出生数が 90 万人を割るなど、少子化の状況は依然深刻であり、「希望」と「現実」の乖離が生じている。財源に限られる中で、より効果的な対策を講じるためには、少子化対策における EBPM が求められる。

発表② 「少子化と働き方改革」

発表者 内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官補佐 小嶋秀人

(内容紹介) 現在、少子化対策とも関連する働き方改革が進められてきている。女性の労働参加促進と出生率の回復、希望出生率の実現に向けて、働き方に関して生じている変化について、男性の労働時間と女性の労働参加の関係等を分析する。

3. 座長及び討論者

座長 小塩隆士 一橋大学経済研究所教授

※討論者については、検討中。

4. 所要時間

1 時間半のセッションを予定しており、

発表①と発表②それぞれについて、

発表：20 分、討論：10 分 を行った後、
パネルディスカッション（質疑応答）：30 分
といった配分を予定。